

平成 28 年度 第 3 回ロールプレイで行うカウンセリング演習

－ 集中講座のご案内 －

ロールプレイでカウンセリングの演習をしてみたいが「時間が合わない」、「なかなかロールプレイを人前でやる自信がない」などとお考えの方にも気軽に参加していただく集中講座を実施いたします。

1. 主催 HSD研究会
2. 協力 NPO法人栃木県カウンセリング協会
3. 期日 ①平成 28 年 12 月 24 日(土)～12 月 25 日(日)
②平成 29 年 2 月 11 日(土)～2 月 12 日(日)
4. 会場 コンセーレ

〒320-0066 栃木県宇都宮市駒生1丁目1番6号 TEL 028-624-1417

5. 日程

日程	時間	講座内容
第 1 日目	12:30～	受付
	13:00～16:00	ロールプレイ演習
第 2 日目	9:30～	受付
	10:00～12:00	ロールプレイ演習
	12:00～13:00	昼食
	13:00～16:00	ロールプレイ演習

6. 講師 松本 浩二 (関東学院中学高等学校)
田所 撰寿 (作新学院大学)

7. 研修講座の受講にあたって

～ロールプレイでのカウンセリング演習をよりよい学びとするために～

- ① 「カウンセラートレーニングにおけるロールプレイの意味とルール」を熟読してください。添付資料1
- ② ロールプレイング用ケースを作成し、申し込み先にそれぞれの〆切日までにメール、郵送、FAXでお送りください。添付資料2

8. 参加条件(以下のすべてを満たす方)

- ① カウンセリングのロールプレイについて、基礎的な学習及び演習を学ばれた方
- ② 心身ともに健康な方

9. 参加費用: HSD 研究会会員 20,000 円(非会員:22,000 円)

10. 申し込み〆切り

- ① 平成 28 年 12 月 24 日(土)～12 月 25 日(日) 〆切り 12 月 1 日(月)
- ② 平成 29 年 2 月 11 日(土)～2 月 12 日(日) 〆切り 1 月 24 日(月)

※ 定員に達し次第締め切ります。

11. 募集人数 15 名(最低催行人数 10 名)

12. 申し込み方法・申し込み先

必要事項をご記入の上、参加申込書とロールプレイング用ケースをそれぞれの〆切日までに提出しお申し込みください。同時に、参加費を郵便振替でお振込みください。入金された方を優先します。

学生の方は学生証のコピーを送付してください。入金が確認でき次第、受講許可メールをお送りいたします。納入された参加費は、本人の都合で取り消す場合は一切返金できませんので、ご承知おきください。定員に達し次第締め切ります。なお、それぞれの〆切日以降の申し込みの場合は、メールでお問い合わせください。

《振込先》 ①郵便振替口座：10740-35553731 名義：HSD 研究会

②ゆうちょ銀行 店名：〇七八 店番：078 預金種目：普通預金

口座番号：3555373 名義：HSD 研究会

平成 28 年度 第 3 回ロールプレイで行うカウンセリング演習 ～集中講座～

参加申込書

フリガナ		性別	年齢
氏名			
住所	〒		
電話番号	(自宅・携帯)		
メールアドレス			
所属(職種)			
研修日	① 12/24(土)～12/25(日) ② 2/11(土)～2/12(日)		

申込先/〒321-3295 栃木県宇都宮市竹下町 908

作新学院大学人間文化学部 田所研究室宛て

HSD 研究会「ロールプレイで行うカウンセリング演習」係

TEL 028-667-7111 FAX 028-667-7110 (大学代表)

e-mail : kachejinkai@sakushin-u.ac.jp

添付資料 1

カウンセラートレーニングにおけるロールプレイの意味とルール

作新学院大学 田所撰寿

1. ロールプレイ(RP)の意味

RPの目的は、カウンセラーとしての態度を養成し、実際のカウンセリングを想定した模擬カウンセリングを行うことでカウンセラーとしての考え方、スキル、哲学を学ぶことである。したがってRPで焦点があてられるのはカウンセリングスキルだけでなく、カウンセラー-クライアントの関係性である。この両者の間でどのような事が生じているのかについて詳細に振り返りをしていくことによって、客観的に態度や能力を評価し、また自身の課題を見出していくことになる。

RPは以下のような点でカウンセラートレーニングにとって有効である。

(1) 架空の相談事例のメリット

RPで扱われる内容は作りものの内容であるため、クライアント役の心理的問題をケアする必要がない。RPで扱われる心理的問題はあくまでも“借り物”であることが前提となる。したがってRPを途中で切ってもクライアント役が心理的負担や傷つき体験となる心配がない。この点は非常に大切な点である。実際にカウンセリングを行いながらトレーニングをしていくというのはあまりにも無謀であるし、倫理的に許されるものではない。RPを通しながら何度も模擬のカウンセリングを行い練習していくことが大切なトレーニングである。したがって、時には同じ問題でRPをやり直したりカウンセラー役を代えてRPすることも可能である。

(2) 可逆性・再現性におけるメリット

クライアント役の感じている事・考えている事を振り返り時に聞くことができる。これも実際のカウンセリングではできない事である。カウンセラー役の“あの時のあの発言”の時に、クライアント役がどのように感じていたのか、また何を考えたのかを実際に聞くことができる。これはとても貴重な体験である。我々カウンセラーは常にクライアントが何を感じ、何を考え、何を欲しているのかを考えながらカウンセリングを進めていく。しかしそれはあくまで仮説であって、はっきりとクライアントに尋ねることはできない。RPではカウンセラートレーニングとして行われているため、これが可能となる。“あの沈黙の時に何を考え、何をしてもらいたかったか”これに対するクライアントとしての明確な正解を教えることができるのである。このようなやり取りを何度も重ねながらクライアントの知(考えている事)・情(感じている事)・意(したいと思っている事)を読みとることができるようになるのである。

(3) 実際のカウンセリングと類似した緊張感

実際のカウンセリングに近い緊張感を体験することができる。実際のカウンセリングではカウンセラーはとても緊張するものである。まして初心者であるならば当然緊張している。こうした緊張感をRPの研修において、トレーナーとトレーニーの前で行うことによって体験することができる。人前でRPを行うことは、自分のできない部分をさらけ出すことであり、また実際にトレーナーに具体的な指摘を受けることはとても緊張する体験となる。しかしこれと同じかそれ以上の緊張が実際の臨床場面ではある。このようなある意味厳しい体験を通しながらカウンセラーとしての態度と、人の相談を受けるのだという“覚悟”が形成されていくのである。

2. RPの効果

RPにおいて聴く・観る・話すの3つを、カウンセラー「聴く」・観察者「観る」・クラ

イベント「話す」と役割を一つ一つ整理しながら進めていくことができる。カウンセラー役として聴くことの重要性は上述のとおりであるが、観察者としては、RPを観ることによってカウンセリングの雰囲気がどうであるのか、クライアントやカウンセラーは何を考へ感じているのかを観察者という視点に立って客観的に観察していくことができる。こうした客観的視点はアセスメントしていくためにはとても重要である。カウンセリング初学者はどうしても感情的にのめりこみやすい、または話の内容を追いすぎるといったように自己の主観に偏りがちになってしまう。客観的にどう捉えることができるのかを養うためには観察者という役割はRPの中では重要な役割を果たす。最後にクライアント役であるが、話す事によってどのような心理的な変化があるのかを体験することができる。慣れてくると、感情の動きやカウンセラー役に扱ってもらいたい点などを感じるようになる。このようなクライアント体験が、カウンセラーとしての自己の感情に気づく、客観的にアセスメントする、自分の感情と切り離すなど、カウンセラーとしての態度を伸ばしていくため貴重な体験となるのである。

3. RPのルール

上述の目的の達成や効果を得るために、RPにおいては構造的な枠組みを作る必要がある。これはトレーニーを守ることにともなるし、カウンセラートレーニングがカウンセリング的癒しを得る場とならないための条件となる。

- ①設定はあくまでも借り物、自分の悩みは絶対に扱わない。
- ②自分の子どもや夫などの問題ではなく、自分自身が悩んでいるという設定にすること。
- ③性別は変えない。しかし年齢はカウンセリングができる年齢であればいくつでも構わない。
- ④相談の時期も設定すること。
- ⑤相談場所は有料のカウンセリングルームとすること。

尚 RP プレイ終了後の振り返りのルールとしては以下の通りである。

- ①振り返りを行う内容は、RPの中で話された話題のみに限定する。
- ②クライアントの隠された設定など、語られなかった内容については扱わない。
- ③カウンセラーの言葉や態度がどうであるのかについて議論するのであって、クライアントについて議論はしない。言い換えるならば、クライアントの相談内容を扱うのではなく、クライアントの感じている事、考えている事、望んでいる事について扱う。

カウンセラートレーニングが進んでいくことによって、RPのルールの内容は多少変化する。細かくは言及しないが、初級者～中級者のRPは以上に挙げたルールが原則となる。

添付資料2

平成 年 月 日

ロールプレイング用ケース

氏名

クライアントの概要

年齢	歳
性別	
職業	
その他	

ケース

主訴	
家族構成	
経過や背景(複雑なものにしないこと)	



- 住所

〒320-0066 栃木県宇都宮市駒生 1-1-6

- 交通アクセス

JR宇都宮駅よりお車で15分／関東バス「作新学院駒生行き」東中丸バス停下車

- 駐車場

有り 500台 無料 先着順 EV充電器(急速1台、普通2台、有料)